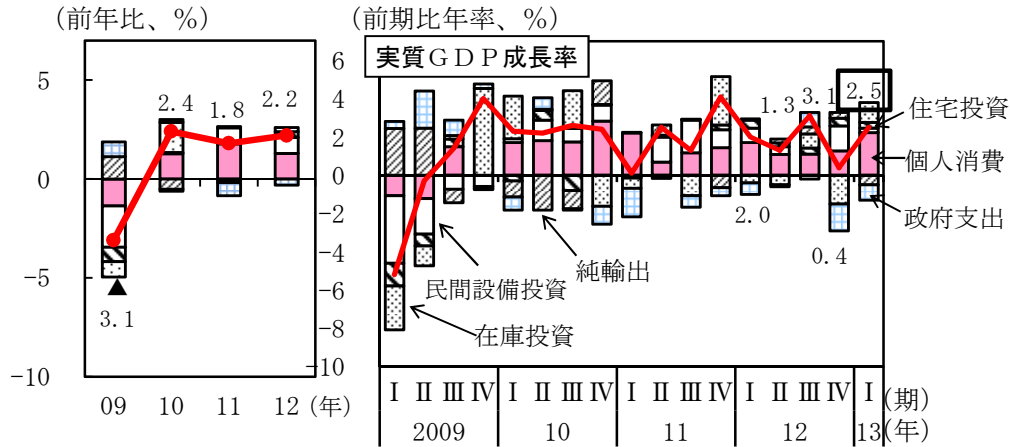


1. アメリカ

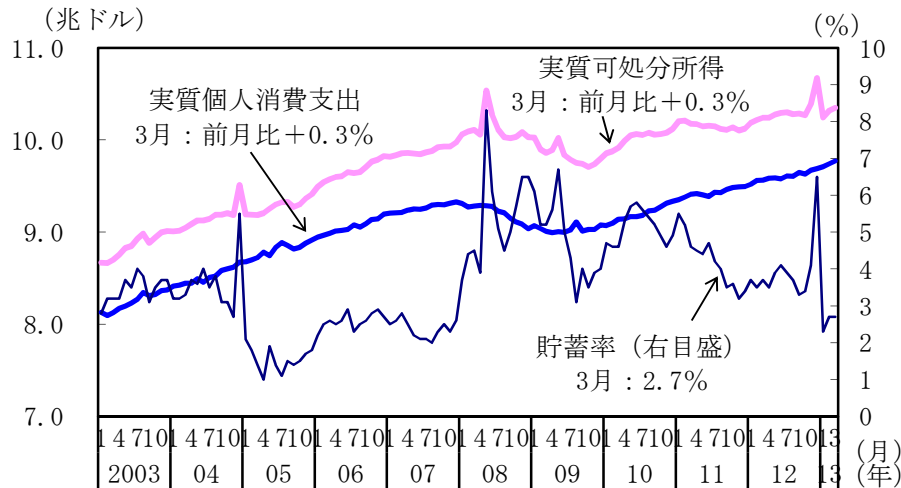
○アメリカでは、景気は緩やかな回復傾向となっている。

①実質GDP成長率（1次推計値）
2013年1～3月期は前期比年率+2.5%成長

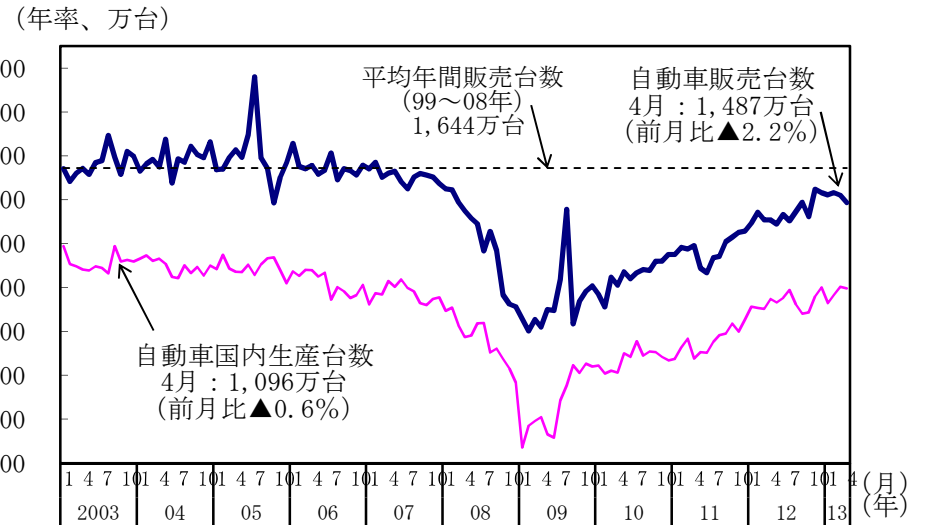


(備考) 2013年1～3月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：2.2、民間設備投資：0.2、住宅投資：0.3、在庫投資：1.0、政府支出：▲0.8、純輸出：▲0.5。

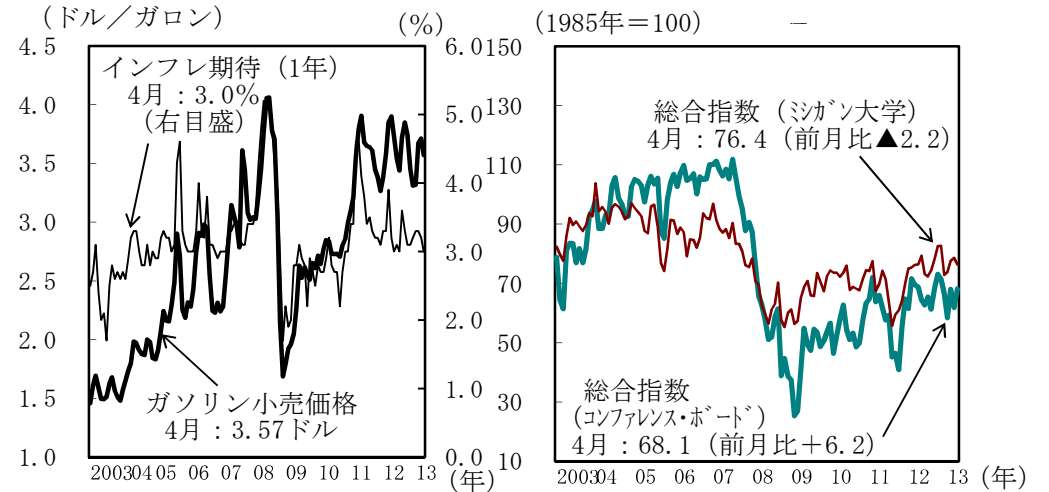
②消費は緩やかな増加傾向



自動車販売台数はおおむね横ばい

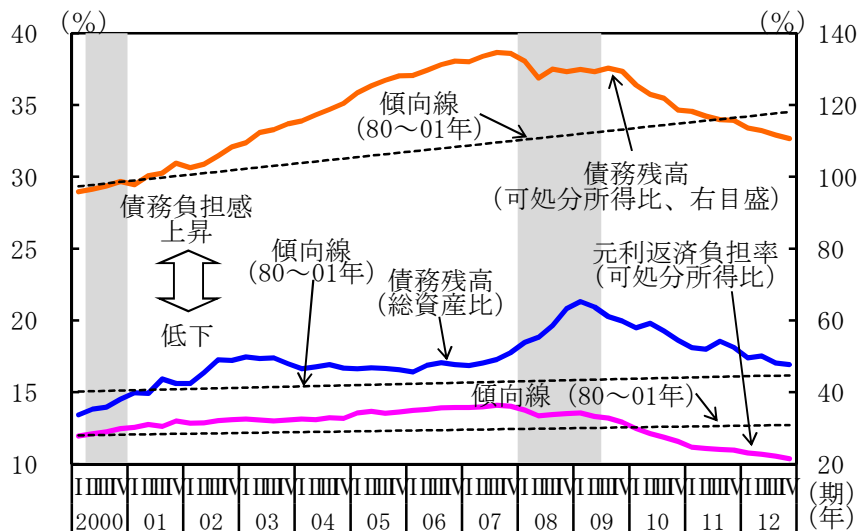


消費者信頼感指数はおおむね横ばい



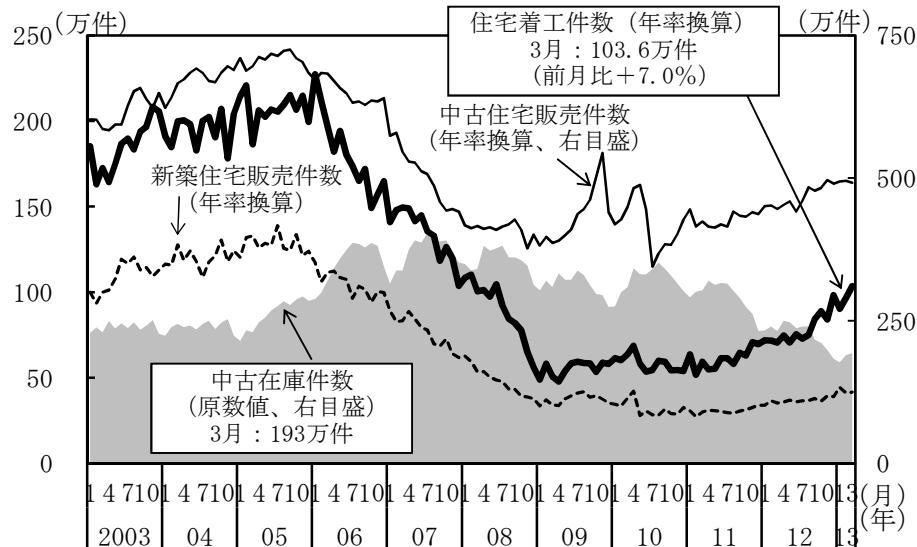
(備考) 1. インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2. ガソリン小売価格は月平均価格。

家計のバランスシート調整は継続



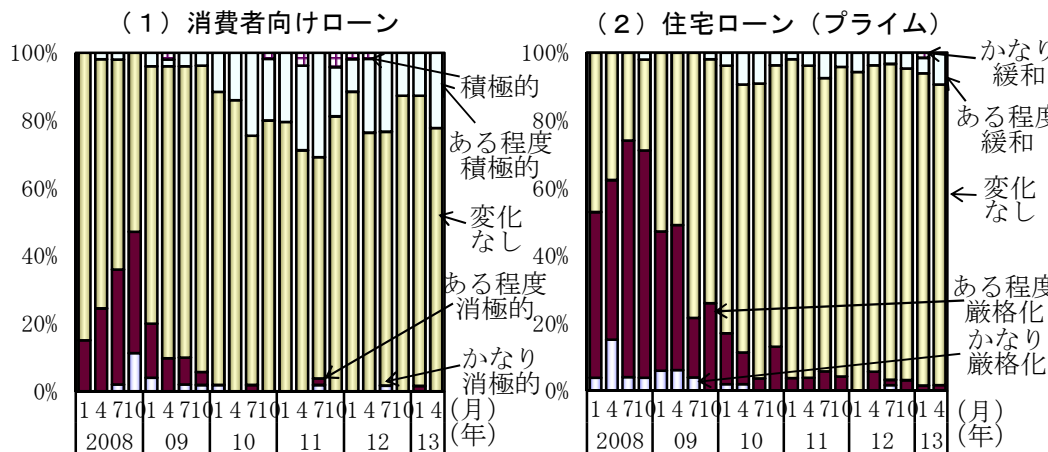
- (備考) 1. 網掛け部分は景気後退期を指す。
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

③住宅着工は低水準にあるものの、堅調に増加



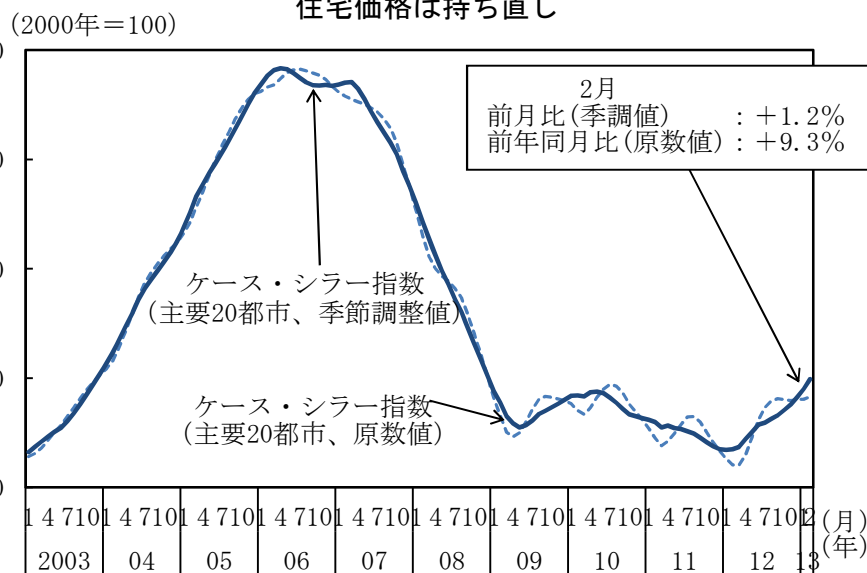
- (備考) 13年3月の販売件数に対する中古在庫の割合は4.7ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(1月末)は5.3ヵ月分に相当。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

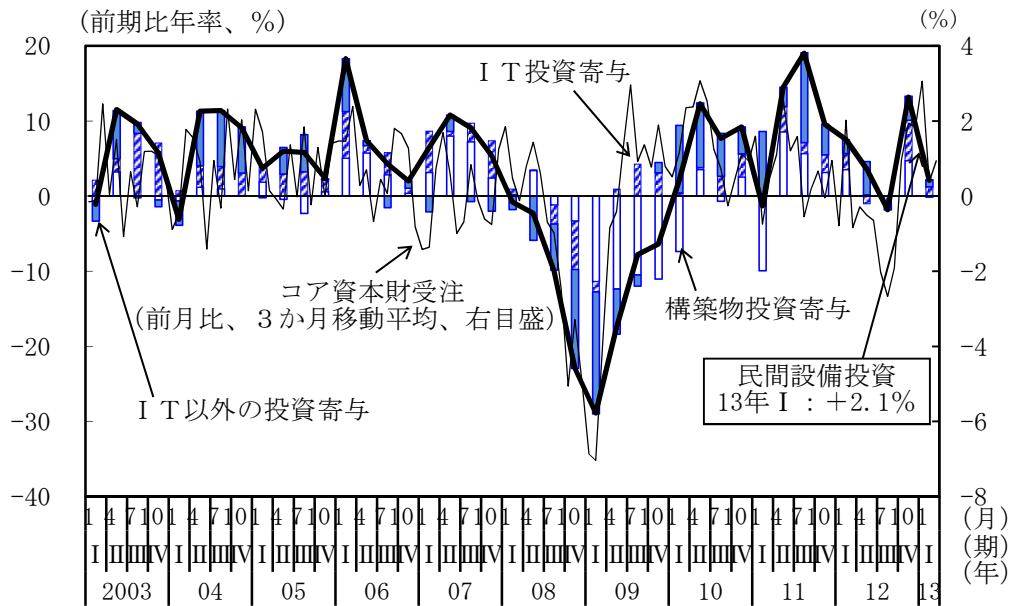


- (備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン（プライム）の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

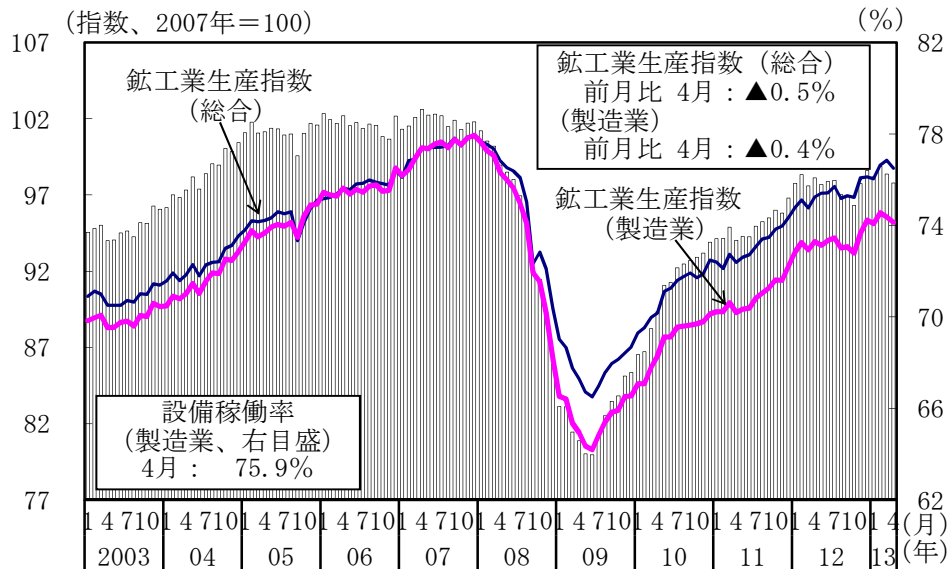
住宅価格は持ち直し



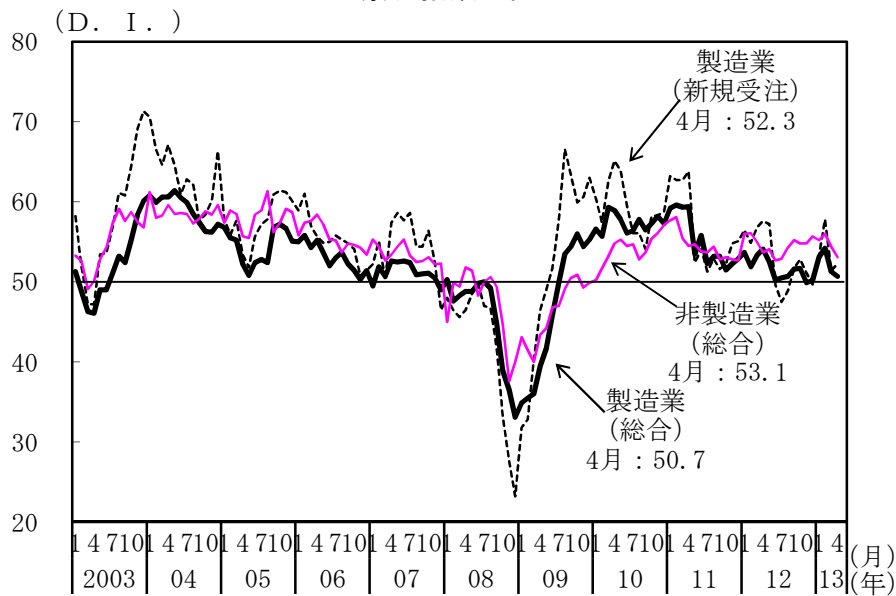
④設備投資は持ち直しのテンポが緩やかに



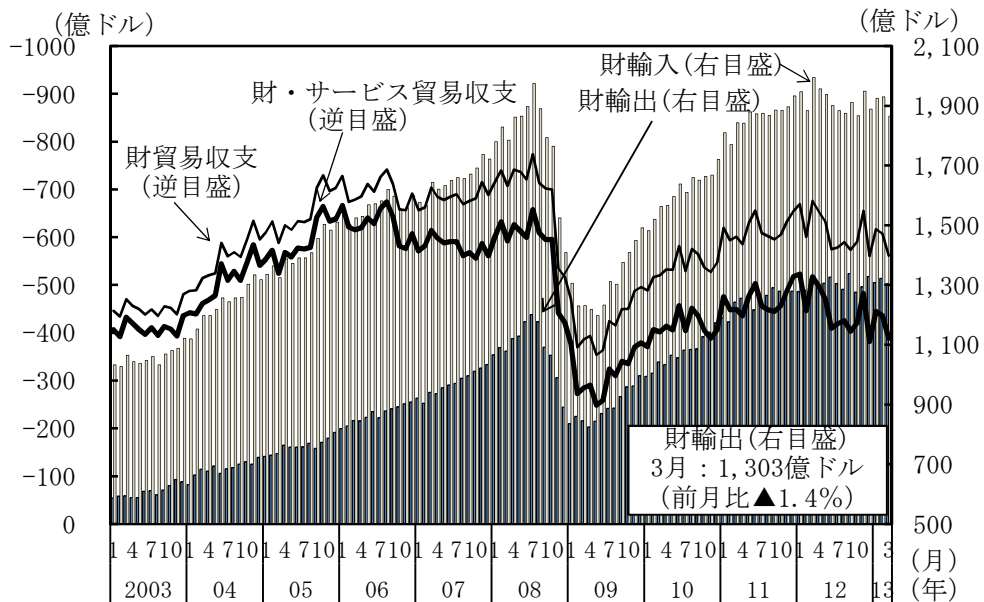
⑤生産はおおむね横ばい



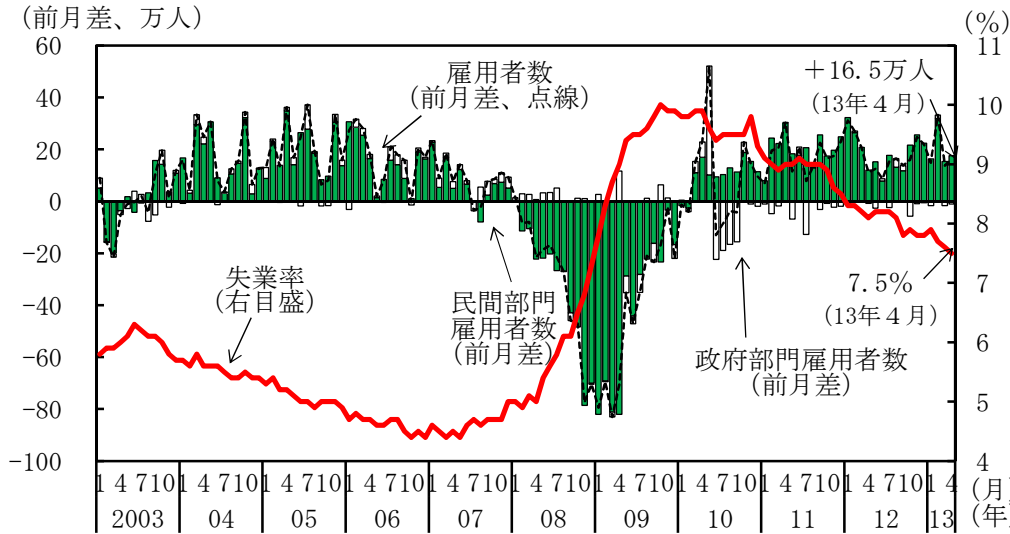
景況指数は低下



⑥財輸出はおおむね横ばい

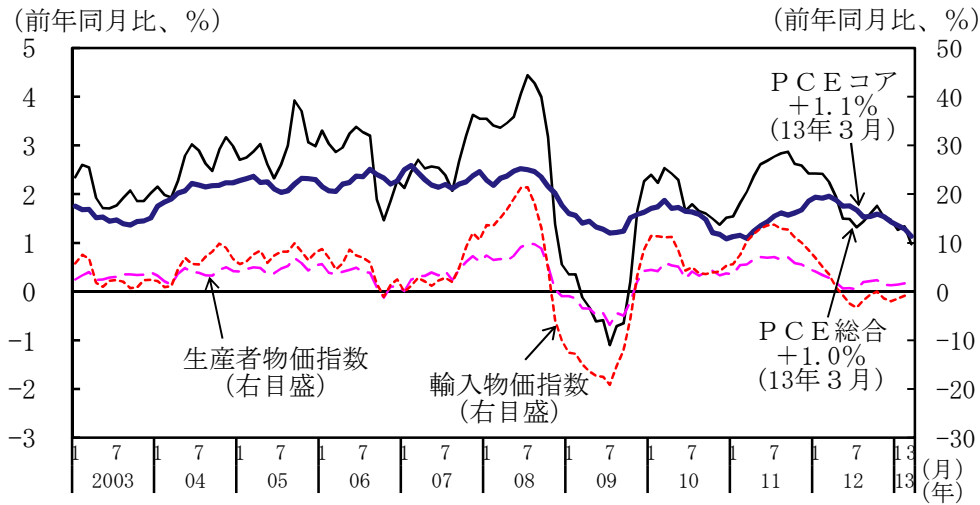


⑦雇用者数は増加しており、失業率は低下



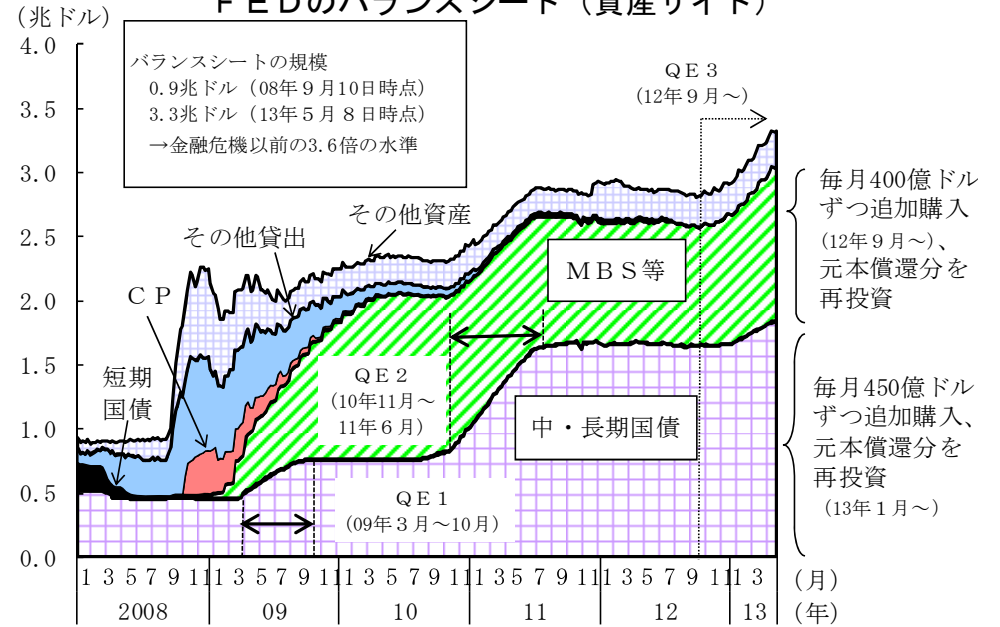
(備考) 1. 雇用者数は非農業部門。
 2. 2008～09年の雇用者数の増減は▲866.9万人、10年以降の雇用者数の増減は+610.1万人。

⑧コア物価上昇率は低下

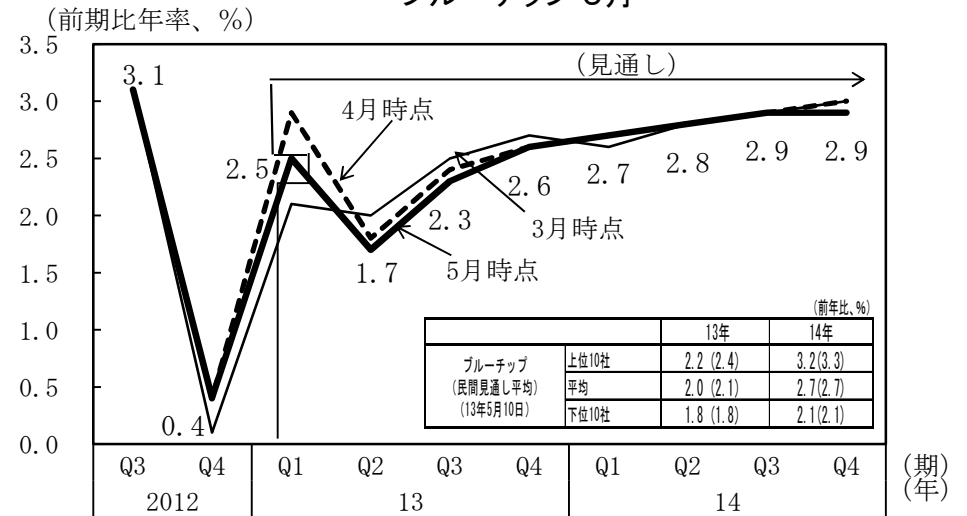


(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

FEDのバランスシート (資産サイド)



(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。
 ブルーチップ 5月



(備考) ブルーチップのカッコ内は、13年4月10日時点の見通し。